

2年次後期・必修

1単位・15時間

【概要・目的】

救急看護とは、さまざまな状況によって、救急処置が必要な対象に実施される看護活動で、場所や疾患、臓器、対象の発達段階、診療科、重症度を問いません。院内急変や病院前救護、災害救急医療、学校保健、産業看護などの場にも救急看護実践があります。講義は、看護師として関わる救急医療について、救急蘇生や緊急処置、外傷診療を学ぶと共に、ドクターヘリに同乗するフライトナースの役割や災害現場に派遣される救急看護師の活動が理解できることが目的です。

【到達目標】

- 1) 救急患者のトリアージと患者処遇を理解する
 - 2) 心肺蘇生法を理解して実践できる
 - 3) 重症救急病態に対する緊急処置がわかる
 - 4) 災害時の看護師の役割を理解する
-

【内容・スケジュール】

- 1) 救急医学総論
 - 2) 災害医療
 - 3) 心肺蘇生術（BLS と ACLS）
 - 4) 外傷の初療と看護
 - 5) ショック
 - 6) 熱傷と中毒
 - 7) 集中治療と看護
 - 8) 救急疾病と緊急処置
-

【評価】

筆記試験（60%）、出席状況および参加態度など（40%）

【教科書】

プリント配布

系統看護学講座 別巻 第6版、救急看護学、医学書院、2018

【推薦参考図書】

1. 「外傷初期看護ガイドライン JNTEC 改訂第4版」日本救急看護学会監修、へるす出版 2018（ISBN978-4-89269-958-0）
 2. 「クリティカルケア看護入門 改訂第2版 “声にならない訴え”を理解する」卯野木 健著、学研メディカル秀潤社 2015（ISBN978-4-7809-1122-0）
 3. 「JRC 蘇生ガイドライン 2020 日本蘇生協議会・日本救急医療財団監修、へるす出版 2021
-

【その他】